

酪農・豆知識 第 96 号

畜産統計（平成 26 年 2 月 1 日現在）

農林水産省は 7 月 1 日に、平成 26 年 2 月 1 日現在の畜産統計を公表しました。

どの畜種についても、全体として飼養戸数は減少傾向にあり、1 戸当たり飼養頭羽数は増加傾向にあります。

乳用牛に関する調査結果の概要は下記の通りです。

なお、本統計では、乳用牛と肉用牛の区分は、品種(ホルスタイン、黒毛和種等)による区分ではなく、利用目的によって区分しており、乳用牛とは搾乳を目的として飼養されているウシ(将来搾乳する目的で飼養している子牛を含む。)を、また肉用牛とは肉用を目的として飼養しているウシを指しています。

また、この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口 (e-Stat) の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>)

1. 飼養戸数・頭数の推移(図 1)

- 1) 乳用牛の飼養戸数は廃業等により前年に比べて 800 戸減少し、1 万 8,600 戸(対前年比 95.1%)になりました。
- 2) 飼養頭数も前年に比べて 2 万 8,000 頭減少し、139 万 5,000 頭(同 98.0%)となりました。
- 3) 飼養頭数の内訳をみると、経産牛は 89 万 3,400 頭で前年に比べて 3 万頭(3.2%)減少し、未經産牛は 50 万 1,200 頭で前年に比べて 1,100 頭(0.2%)増加しました。
- 4) この結果、1 戸当たり飼養頭数は 75.0 頭で、前年に比べて 1.6 頭増加しています。また、地域別に見ると、北海道、関東、東北の三地域でその 3 分の 2 を占めています。
- 5) 主要県では北海道の 230 戸減で以下軒並み減少しています。

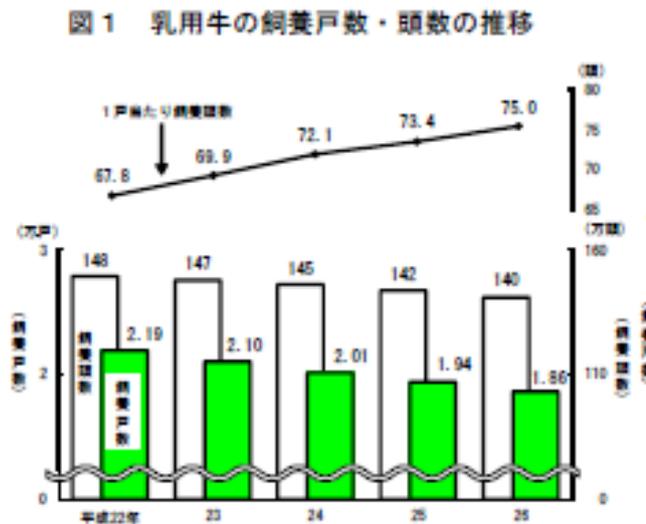


表 1 乳用牛の全国農業地域別飼養戸数・頭数

区分	単位	全国	北海道	東北	北陸	関東 東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
飼養戸数													
実数	25年	戸	19,400	7,130	2,990	414	3,930	877	666	940	464	1,880	80
	26年	〃	18,600	6,900	2,860	389	3,720	844	636	875	439	1,810	76
増減率	%		△ 4.1	△ 3.2	△ 4.3	△ 6.0	△ 5.3	△ 3.8	△ 4.5	△ 6.9	△ 5.4	△ 3.7	5
全国割合	〃		100	37	15	2	20	5	3	5	2	10	0
飼養頭数													
実数	25年	千頭	1,423	807	113	16	199	59	31	51	22	120	5
	26年	〃	1,395	795	109	16	195	57	30	50	21	118	5
増減率	%		△ 2.0	△ 1.4	△ 3.4	△ 4.9	△ 2.4	△ 3.6	△ 4.8	△ 2.3	△ 4.1	△ 1.9	1
全国割合	〃		100	57	8	1	14	4	2	4	2	9	0

注：沖縄の飼養頭数の増減率(%)は、前年値(4,650頭)に対する本年値(4,610頭)の比率である。

2. 全国農業地域別の飼養戸数・頭数(表1)

- 1) 全国農業地域別にみると、飼養戸数及び飼養頭数ともに前年に比べて全ての地域で減少しています。また、地域別の飼養頭数割合は、北海道が全国の飼養戸数約6割を占めています。
- 2) 1戸当たり飼養頭数は1.6頭増加し75.0頭(同102.2%)でした。乳牛飼養戸数は近年、減少の一途をたどっていますが、1戸当たり乳牛飼養頭数は毎年増加傾向にあります。しかし、1戸当たり飼養頭数が増加する一方、さまざまな理由による離農に歯止めがかからず、生乳生産減の大きな要因となっています。

3. 成畜飼養頭数規模別の飼養戸数・頭数(表2)

- 1) 飼養頭数規模別にみると、飼養戸数及び飼養頭数ともに前年に比べて80～99頭の階層を除く全ての階層で減少しています。

表2 成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	
飼養戸数									
実数	24	戸	19,400	4,340	2,940	5,210	3,910	1,010	2,030
	25	〃	18,800	4,050	2,710	5,170	3,860	1,030	1,960
	26	〃	17,900	3,820	2,510	4,750	3,730	1,200	1,900
増減率	25/24	%	△3.1	△6.7	△7.8	△0.8	△1.3	2.0	△3.4
	26/25	〃	△4.8	△5.7	△7.4	△8.1	△3.4	16.5	△3.1
構成比	24	〃	100.0	22.4	15.2	26.9	20.2	5.2	10.5
	25	〃	100.0	21.5	14.4	27.5	20.5	5.5	10.4
	26	〃	100.0	21.3	14.0	26.5	20.8	6.7	10.6

- 2) 飼養頭数規模別の飼養頭数割合は、100頭以上の階層が約3割を占めています。

4. 全体としての傾向

この調査結果を見ると、今後とも規模拡大の流れは継続するとみなして良いのではないかと思います。また経産牛の飼養頭数が減り、初産牛が増えていることから、若いうちに淘汰される乳牛が多い

ことが原因と考えられ、この問題に対応する技術開発が急務と思われま。100頭以上の乳用牛を飼養している酪農家は全体の10%にすぎませんが、この酪農家の飼養頭数は全体の30%以上になっています。

飼養頭数									
実数	24	千頭	1,415	67	95	273	346	130	505
	25	〃	1,384	72	88	281	343	133	467
	26	〃	1,352	63	82	259	335	153	460
増減率	25/24	%	△2.2	7.5	△7.6	2.9	△0.8	2.9	△7.5
	26/25	〃	△2.3	△11.5	△7.3	△7.9	△2.4	14.3	△1.5
構成比	24	〃	100.0	4.7	6.7	19.3	24.4	9.2	35.7
	25	〃	100.0	5.2	6.4	20.3	24.8	9.6	33.7
	26	〃	100.0	4.7	6.0	19.2	24.8	11.3	34.0